

1. 使用した測定機器

1.1 X線回折装置のメーカー、型式

X線回折装置のメーカー・型式	メーカー	
	型式	

1.2 実体顕微鏡のメーカー、型式

実体顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	
	型式	
倍率		

1.3 偏光顕微鏡のメーカー、型式

偏光顕微鏡のメーカー・型式	メーカー	
	型式	
コンデンサ		
対物レンズ（倍率）		
分散対物レンズ		

2. X線回折装置による定性分析の条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	
管電圧(kV)	
管電流(mA)	
単色化(K_{β} 線の除去)	
フルスケール(cps)	
時定数(s)	
走査速度($^{\circ}$ /min)	
発散スリット($^{\circ}$)	
散乱スリット($^{\circ}$)	
受光スリット(mm)	
走査範囲(2θ)($^{\circ}$)	

3. X線回折分析に使用した試料ホルダー又はフィルター

試料ホルダー又はフィルター	定性分析に使用した試料ホルダーの種類 （ ガラス ・ 亜鉛 ・ アルミニウム ・ その他（ ） ） 使用したフィルターのメーカー・型式 （ ） その他（ ）
---------------	--

3.2 X線回折分析法による定性分析 回折線プロファイル

一次分析試料

二次分析試料

「ピークの記号」

Chr : クリソタイル Amo : アモサイト Cro : クロシドライト Tre/Act : トレモライト/ アクチノライト

Ant : アンソフィライト Ca : カルサイト Q : 石英 Tr : トリジマイト Cr : クリストバライト

Vc : バーミキュライト Hb : ハイドロバイオタイト Br : ブルーサイト Se : セピオライト

Cl : クロライト Mc : マイカ (イライト) Fl : 長石 Gyp : ギブサム(石膏) Un : 未同定ピーク

「注意事項」(2θ) 5° ~70° のX線回折プロファイルを添付。

4. 偏光顕微鏡法の試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有 無
「有」の場合の調製方法	灰化（ ℃ 時間） 酸処理（酸種類： 濃度： ） 浮遊沈降 その他（ ）

※試料調製の実施はアスベスト分析マニュアル 1.20 版 P41 の「3.2.1. 試料調製」を指す。

5. 偏光顕微鏡法の前処理の状況

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	割る すりつぶす ナイフ・カッター等で削る ほぐす 灰化（ ℃ 時間） ホットプレート・ライター等で加熱 酸処理（酸種類： 濃度： ） その他（ ）

※前処理の実施はアスベスト分析マニュアル 1.20 版 P42 の「3.2.3. 前処理」を指す。

6. 偏光顕微鏡法による定性分析

6.1 分析室の温度

分析室の温度(℃)	
-----------	--

6.2 試料全体の偏光顕微鏡法による定性分析結果

試料性状 層の記載（色・状態）	検出されたアスベストの種類	推定質量分率
(例) 層 1 (100%) 灰色・繊維状	クリソタイル	0.1-5%
層 1 (%)		
層 2 (%)		
層 3 (%)		
層 4 (%)		
層 5 (%)		
石綿以外で確認された繊維		
コメント		

※『石綿以外で確認された繊維』の例としては、

ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維 (MMMF)、セルロース (CE)、合成有機繊維 (SYN)、タルク (TA)、ウオラストナイト (WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう (GYP)、セピオライト (SE) などがある。

7. X線回折分析法及び偏光顕微鏡法の定性分析結果に基づく最終判定結果

石綿の種類	定性分析結果		石綿含有 最終判定結果
	X線回折分析法	偏光顕微鏡法	石綿含有の有無
	回折線ピークの有無	石綿の有無	
クリソタイル	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
アモサイト	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
クロシドライト	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
トレモライト ／アクチノライト	有 ・ 無		有 ・ 無
トレモライト		有 ・ 無	有 ・ 無
アクチノライト		有 ・ 無	有 ・ 無
アンソフィライト	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無